

自分が努力するのは当然。しかし優れた指導者や研究室の仲間といった人間関係に恵まれたおかげで達成できたことのなんと多いことか。

興味の効用

大学院自然科学研究科 物質基礎科学専攻
片野 孝幸

2年間の大学院生活を振り返ってみて、勉強や研究が大変だったことが思い出される。自分が努力するのは当然。しかし優れた指導者や研究室の仲間といった人間関係に恵まれ



たおかげで達成できたことのなんと多いことか。大体研究など、自分でやりたいと思って選んだものの、分からぬことが多く苦痛なものである。大義名分と実際は大きく異なるものだ。しかしどうせやるなら、楽しくやりたい。幸い理解のある人々が周囲にいてくれたおかげで、いろんなことに興味を持つことができた。興味を持つといえ、天邪鬼な自分は、反対する対象を見つけるのも一つの方法かな、と思った。しかしその時に、必ず代案を出すこと。そういうやり方で考えが進むこともあった。こんなことができたのも、寛大な人が多かったおかげだろう。しかしいつもは飛躍しすぎて、上手くないことの方が多いのだが。まあ、徐々に

試行錯誤で研究が進むのが面白く、人間らしいのだろうと思う。

旅立ち

医学部 医学科
高木 正仁

新潟での大学生生活もあっという間に過ぎ去った。いろいろと得るものも多く、実り多い学生生活だったように思う。入学当時の自分自身と比べて精神的にも身体的にも、かなり変わったことに驚かされる。良い友人たちにめぐり合え、良い先生方の導きがあったからこそだと思い、感謝している。

Sir Winston Churchill の言葉で、こう云ったものがある。

To improve is to change; to be perfect is to change often.

学生という安全地帯から飛び出し卒業とともに挑戦への第一歩を踏み出そう。



本人右側

卒業、修了

まだまだ足りないところの多い自分だが、これからもさらに精進し、いろいろなことに挑戦していこうと思う。困難を伴うこともあるかもしれない。しかし、その分だけ自分自身の喜びとなるものも大きいに違いない。それがまた誰かのためになるのなら、それ以上嬉しいことはない。学生という安全地帯から飛び出し、卒業とともに挑戦への第一歩を踏み出そうと思う。

卒業にあたって

歯学部 歯学科
小幡 葵

この新潟大学に入学してから早や幾年、いよいよこの学び舎を巣立つこととなりました。入学時に思い描いていたような事が実際に全て出来たとは思えませんが、時間は平等に流れ、また違った環境にわが身を置くことになり、残念な気もすれば、多少の期待と不安も持ちあわせた複雑な心境が自分にあるのを感じます。

このような人生の節目という少し大袈裟かも知れませんが、そういった時期だからこそ思ったことですが、この新潟大学で学んだ事を大切にして次の自分の活動の場で役に立てられたら、それだけでもここで学んだ事が大きな意味を持ち、自らの糧となるのだと思います。

出来る限り最大限、その意味と糧を大きなものにしていけるよう、色々な事を精一杯することは本当に大切な事だと思います。



新潟大学で学んだ事が
次の自分の活動の場で役に立てられたら、
それだけでもここで学んだ事が
大きな意味を持ち、自らの糧となる。

学部生活を振り返って

工学部 建設学科
小柳 健

振り返ってみると大学での4年間は非常に充実し、有意義な時間だったと思います。課題に追われながら深夜まで建築について語り合ったこと、友人たちと多くの建築物や町並みを見て回ったこと、建築事務所でのアルバイトを通して現場の空気を肌で感じたことなどはかけがえの無い思い出であり、自分にとってもプラスとなる経験でした。

また4年生になり研究室に所属し、良き先輩や同輩たちにめぐり合うことができました。その環境の中で一人一人の研究についてその成果を聞くこと、一人の研究について研究室全体で考え、意見をぶつけ合う事、その時間を共有することはとても楽しく、有意義な時間であったと思います。

今までの4年間をこの環境の中で過ごせたことは自分にとって非常に幸福なことでした。ここでは語り尽くせないほどの経験や思い出を大切に、また新たな気持ちで大学院に進もうと思います。



一人の研究について研究室全体で考え、
意見をぶつけ合う事、
その時間を共有することはとても楽しく、
有意義な時間であった。